

## 一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令試験問題

下記の問題は一般旅客自動車運送事業に関する記述です。  
正しいものには○、誤っているものには×を回答欄に記入して下さい。  
また、( )内にあてはまる語句を、下のA, B, Cから選んで回答欄に記号で記入して下さい。

1. 道路運送法の目的には、公共の福祉を増進することが謳われています。

**法第1条** 回答 ( ○ )

2. 道路運送法に規定する旅客自動車運送事業とは、他人の需要に応じ、無償で、自動車を使用して旅客を運送する事業です。

**法第2条第3項** 回答 ( × )

3. 道路運送法の一般貸切旅客自動車運送事業は、一個の契約により乗車定員10人以上の自動車を貸し切って旅客を運送する事業です。

**法第3条** ( × )

4. 一般貸切旅客自動車運送事業を経営するためには、道路運送法に規定されている一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けなければなりません。

**法第4条** 回答 ( ○ )

5. 一般貸切旅客自動車運送事業の事業計画には、少なくとも、輸送の安全を確保するための事業の運営の方針に関する事項について、明確に定めなければなりません。

**法第5条** 回答 ( × )

6. 1年以上の懲役又は禁錮の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から3年を経過していない者は、一般旅客自動車運送事業の許可を受けることができません。

**法7条** 回答 ( × )

7. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金は、利用者との間の契約に基づき運送ごとに設定し、運送終了後に国に報告します。

**法第9条の2** 回答 ( × )

8. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、収受した運賃又は料金の割り戻しをしてはなりません。

**法第10条** 回答 ( ○ )

9. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、正当な事由がある場合、運送の申し込みを受けた順序によらずに旅客の運送を行うことができます。

**法第14条** 回答 ( ○ )

10. 貸切バスの営業所の名称を変更するときは、事業計画変更の認可を受ける必要があります。

**法第15条** 回答 ( × )

- 1 1. 貸切バスは、営業区域内から営業区域外への運送は行えますが、営業区域外から営業区域内への運送は行えません。

**法第 2 0 条** 回答 ( × )

- 1 2. 複数の営業所がある場合、一般貸切旅客自動車運送事業者は営業所ごとに安全統括管理者を選任する必要があります。

**法第 2 2 条の 2** 回答 ( × )

- 1 3. 一般貸切旅客自動車運送事業者は営業所ごとに最低 1 名の運行管理者を選任する義務がありますが、事業用自動車 が 3 0 両以上の営業所では、事業者の判断により運行管理者の数を増やす必要があります。

**法第 2 3 条** 回答 ( × )

- 1 4. 道路運送法には、一般貸切旅客自動車運送事業者が貸切バス車両を運転させることができる運転者に関する要件が規定されています。

**法第 2 5 条** 回答 ( ○ )

- 1 5. 貸切バスが車両火災を引き起こした場合、旅客に被害がなければ事故報告は不要です。

**法第 2 9 条** 回答 ( × )

- 1 6. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業の貸渡契約を締結すれば、一般貸切旅客自動車運送事業を他人にその名において経営させることが出来ます。

**法 3 3 条** 回答 ( × )

- 1 7. 一般貸切旅客自動車運送事業を休止する時は、国土交通大臣の認可を受けなければなりません。

**法 3 8 条** 回答 ( × )

- 1 8. 一般貸切旅客自動車運送事業者が許可に付された条件に違反したときは、許可の取り消しを受ける場合があります。

**法 4 0 条** 回答 ( ○ )

- 1 9. 一般貸切旅客自動車運送事業者が事業に使用する自動車の外側に表示しなければならないものは、使用者の氏名、名称又は記号のみです。

**法 9 5 条** 回答 ( × )

- 2 0. 一般貸切旅客自動車運送事業者の事業計画には、配置する事業用自動車のうち、長さ、幅、高さ又は車両総重量が最大であるものの当該長さ、幅、高さ又は重量を記載しなければなりません。

**施規第 4 条第 7 項** 回答 ( × )

- 2 1. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けた者が、運賃及び料金の設定の届出をしようとする場合、当該届出書には設定を必要とする理由を記載する必要はありません。

**施規第 1 0 条の 2 第 1 項** 回答 ( ○ )

- 2 2. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送約款を変更するときは、30日前までに届け出なければなりません。

**施規第11条** 回答 ( × )

- 2 3. 一般貸切旅客自動車運送事業廃止届出書には、「廃止する理由」を記載する必要があります。

**施規第25条第1項** 回答 ( ○ )

- 2 4. 道路運送法関係法令では、事業者は旅客に対して公平かつ懇切な取扱いをしなければならないと規定されていますが、旅客以外の公衆に対する取扱いは定められていません。

**運規第2条** 回答 ( × )

- 2 5. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運行ごとに、運行の開始及び終了の地点並びに日時、運行に際しての注意箇所の位置など、法令に定められた事項を記載した運行指示書を作成し、運転者に適切な指示をし、携行させなければなりません。

**運規第28条の2** 回答 ( ○ )

- 2 6. 日々雇い入れられる者や二月以内の期間を定めて使用される者は貸切バスの運転者として選任できません。

**運規第36条** 回答 ( ○ )

- 2 7. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、貸切バス自動車の内外に、事業者の氏名または名称、当該自動車の運転者その他の乗務員の氏名及び自動車登録番号を旅客に見えやすいように掲示しなければなりません。

**運規第42条** 回答 ( × )

- 2 8. 貸切バスでは、昼間の運行と夜間の運行で、運転者が交代する運転時間に差が設けられています。

**改善基準告示** 回答 ( × )

- 2 9. 「貸切バス選定・利用ガイドライン」は、一般貸切旅客自動車運送事業者が改善基準告示を順守した運行を確保するために、目的地までの効率的な運行経路を選定する際の指針を示したものです。

**貸切バスガイドライン** 回答 ( × )

- 3 0. 道路運送法関係法令には、一般貸切旅客自動車運送事業者が毎事業年度の経過後100日以内にインターネット等を用いて公表しなければならない事項が定められています。

**運規第47条の7** 回答 ( ○ )

- 3 1. 一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けようとする者が旅客自動車運送事業の許可の取消しを受け、取消しの日から( )年を経過していない者に対しては、国土交通大臣は一般貸切旅客自動車運送事業の許可をしてはなりません。

A, 1 B, 3 C, 5

**法第7条** 回答 ( C )

32. 貸切バス事業に用いる事業用自動車は、( ) ごとに定期点検整備を実施しなければならない。
- A, 1ヶ月 B, 3ヶ月 C, 6ヶ月  
**道路運送車両法第48条** 回答 ( B )
33. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運送引受書の写しを( )の日から一年間保存しなければなりません。
- A, 運送申し込み B, 運送引き受け C, 運送終了  
**運規第7条の2** 回答 ( C )
34. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務したときは、乗務記録を運転者ごとに記録させ、かつ、その記録を( )年間保存しなければなりません。
- A, 1 B, 2 C, 3  
**運規第25条** 回答 ( A )
35. 貸切バスの運転者は、事業用自動車の故障等により踏切内で運行不能となったときは、速やかに旅客を誘導して退避させるとともに、( ) に対し適切な防護措置をとらなければなりません。
- A, 旅客 B, 列車 C, バス  
**運規第50条** 回答 ( B )
36. 一般貸切旅客自動車運送事業の標準運送約款には、旅客は、運転者が行う運送の安全確保のための職務上の( ) に従わなければならないことが規定されています。
- A, 案内 B, 命令 C, 指示  
**標準運送約款** 回答 ( C )
37. 一般貸切旅客自動車運送事業者が使用する自動車が( )人以上の死者を生じる事故を引き起こした場合は、24時間以内においてできる限り速やかにその事故の概要を運輸支局長等に速報しなければなりません。
- A, 1 B, 2 C, 5  
**事故報告規則** 回答 ( A )
38. 旅客自動車運送事業者は、事業年度の経過後100日以内に( ) を行政庁に提出する義務があります。
- A, 輸送実績報告書 B, 事業報告書 C, 事故報告書  
**報告規則** 回答 ( B )
39. 貸切バス車両の点検整備記録簿の保存期間は、その記載の日から( ) 年間と定められています。
- A, 1 B, 3 C, 5  
**点検基準** 回答 ( A )
40. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、( ) 歳以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けさせなければなりません。
- A, 60 B, 65 C, 70  
**運規第38条** 回答 ( B )